

第2次紀の川市長期総合計画 基本構想骨子（案）

序論	1
第1章 計画の概要	1
(1) 計画策定の趣旨	1
(2) 計画策定の視点	1
(3) 計画の構成と期間	1
基本構想	1
第1章 計画の背景	1
(1) まちの歴史、現状と特性	1
(2) 取り巻く環境の変化	1
(3) 計画の基礎条件	2
第2章 基本構想の概要	2
(1) 紀の川市の将来像	2
(2) まちづくりの目標（政策目標と施策目標）	2
(3) 計画の体系	2
(4) 土地利用構想	2
(5) 基本構想の推進にあたって	2

序論

第1章 計画の概要

(1) 計画策定の趣旨

⇒計画策定の趣旨を記載します（例：現在、まちづくりに市民と一体となって取り組んでおり、総合計画は今後のまちづくりの指針とするものである、など）。

(2) 計画策定の視点

⇒次期総合計画はどのような視点(コンセプト)で策定したかを記載します（例：職員及び市民がともに主体的にまちづくりを考える機会の創出、持続可能な行財政運営の意識など）。

(3) 計画の構成と期間

⇒総合計画は「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3層構造であることと、それぞれの位置づけ、計画期間を記載します。

基本構想

第1章 計画の背景

(1) まちの歴史、現状と特性

① 紀の川市の歴史

◇ 旧打田町

◇ 旧粉河町

◇ 旧那賀町

◇ 旧桃山町

◇ 旧貴志川町

⇒合併前の旧5町それぞれの特徴や沿革を記載します。

② 紀の川市の魅力

⇒現在の紀の川市の魅力を記載します（例：フルーツのまち、など）。

③ まちの現状と課題

⇒昨年度「総合戦略」の策定過程で整理したまちの現状と課題を改めて整理し記載します。

(2) 取り巻く環境の変化

① 安全・安心の確保

② 人口減少・少子高齢化の進展

③ 雇用環境の変化

④ 持続可能な行財政運営

⇒現在、紀の川市を取り巻く環境（外部環境（国や県の動向など）・内部環境（行政運営の方針、職員の意識など））がどのように変化してきているかを整理し記載します（掲載する

項目は施策の検証などを踏まえて検討することを予定しています)。

(3) 計画の基礎条件

① 将来人口

⇒昨年度「人口ビジョン」の策定過程でシミュレーションした人口推計結果を踏まえて、総合計画の計画年度における目標人口を記載します。

② 財政状況

⇒総合計画策定にあたって実施している基礎調査（まちの現状をアンケートや指標などさまざまな角度から調査）の1つである財政状況の分析結果を掲載します。

第2章 基本構想の概要

(1) 紀の川市の将来像

⇒市民 WC 及び職員 WC などで検討する予定である「まちの将来像」を記載します。

(2) まちづくりの目標（政策目標と施策目標）

⇒まちの将来像の実現のための取り組みの方向性について記載します（掲載する項目は、現行計画と同じく政策レベル（分野ごと）の方向性と施策レベル（取り組みごと）の方向性とするか、政策レベル（分野ごと）の方向性のみとするかは、施策の検証などを踏まえて検討することを予定しています）。

(3) 計画の体系

⇒まちの将来像の実現に向けた取り組み（手段）を整理し、政策と施策の関係を整理した計画体系図を記載します。

(4) 土地利用構想

⇒将来の土地利用の方向性について地域の特性に応じた土地利用のあり方を整理し、記載します。また、都市計画マスタープランなどにおいて、より具体的な土地利用の方向性を整理します。

(5) 基本構想の推進にあたって

⇒まちの将来像の実現のためにどのようなまちづくりを進めていくかを記載します（例：協働によるまちづくり、行政経営の視点に立った経営資源（財源、人員）に裏付けされた計画づくりなど）。